

グリーン経営認証取得の成果の紹介

認証取得後1年目の定期審査時のアンケート項目「特に成果のあった取組」について
寄せられた皆様の声をご紹介します。(2024.03)

【タクシー事業】

内容
敷地内での30分以上の暖機運転は、やらないと一貫して言い続けており住民苦情の抑制、燃費の向上に効果を発揮している。ハイブリッド車への代替を進めており、二酸化炭素の排出ガス削減に貢献している。

【トラック運送事業】

内容
燃費改善の取組として、年度で各車両ごとに、走行距離と給油量を記録していますが、その実績をもとに、ドライバーに対しエコドライブの教育を実施し、意識向上に繋がっていると感じています。
燃費を記録させることにより、燃費向上に役立っています。車両管理の面でも、記録をしっかりつけることにより、意識向上が計られています。
エコ運転ができているかドライバー同士でペアを組み、お互いの運転を評価しあうことを継続して取り組んでおり、エコ運転への意識が高くなったように思えます。また、当社独自の取組みとして、ドライバーを班分けしそれぞれ安全運転の意識を高める取組みとも連携して、特に燃費の改善に効果が表れていると感じております。
毎月燃費一覧を掲示することにより、ドライバー同士の競争力が芽生えている。しかしながら、ドラレコ・CSMS装置の導入により、なかなか燃費は向上しないようになった。ただ、導入当時に比べると1km近く燃費が向上している。
{エコドライブの実施}の項目で配布した資料での教育、そして日常的に目を通すことで、環境面の意識をした運転に繋がっている。
毎月の営業所内のミーティングでグリーン経営にかかわる内容をPRすることで乗務員の環境に関する意識は向上してきたと思われます。
毎月の営業所、部門別の燃費実績を開示し、数値の改善が良くない部署へ問い合わせることで原因分析出来、次月以降の対策に繋がっている事。
今年度も車両事故撲滅・エコドライブを課題に実施。 特に今年度も燃料価格が高騰エコドライブの取組を強化、燃料消費量削減につながった。
車両代替を行うことによりMT車両からAT車両へ変更を行い、運転者が変わっても燃費変動が少なく済むように行っています。また、アイドリングストップ付きの車両を使用することで燃費向上や無駄な燃料消費を抑えるようにしております。引き続き、エコドライブ運転の指導並び教育を継続していきます。
車両整備を日々行っている。車両整備に関する乗務員の意識向上につながっていること、交通事故防止に対する意識向上が図れている。燃料費高騰を受け、弊社全体でエコドライブに取り組んでいる。
プラなど分別を社員全員が無意識に行える様になりました。グリーン経営のポスター掲示が啓発活動に多いに役立っています。
燃費についてドライバーの多くが意識を持つようになりました。
燃費に関する掲示物によってドライバーの意識向上を図り、それによって全車両平均の燃費向上につながった。
燃費向上の為、社員で色々な意見を出し合える様になった。
ドライブレコーダーによる映像確認によりドライバーがみられているという意識が上がったせいか燃費の向上につながっている。
乗務員の燃費に対する意識が変化し、その状態を維持できるようになってきています。ゆとりある運転をする乗務員が増加して、重大な事故も減少しています。事務所内もペーパーレスを目指して少しずつ改善できる点を改善して行っています。
昨今、燃料単価が高騰しているため、各自がエコドライブに対する意識を高く持ち、自走車両の燃費を意識するドライバーが増えていく。毎月1度(第二土曜)安全会議内で安全教育を継続的に実施しており、車両点検の重要性を理解。(不具合などの早期発見がメンテナンスコスト削減につながる)
21年度よりエコタイヤの導入を開始し、22年度で効果が前年実績の7%強の改善を達成できた事 また各ドライバーが会社の取組を理解してきている事も数値として表れました。23年度も昨年実績を上回る数値が出る予想であり、今後も期待しております。

アイドリングストップ、急発進・急加速・急ブレーキの削減、車両整備の徹底、経済速度の実行等、基本的な取り組みを着実に実施してきたことが結果に結びついています。今後は、全クラス目標を達成できるようにデジタコ、ドライブレコーダーを活用した取り組みを強化していきます。

新規、中途採用のドライバーの担当車両の配置の際、順々に車歴の古いものを新人ドライバーに担当してもらってから新車時とはいかないが前任者の燃費実績が改善できた。

【倉庫業】

内容
躯体設備の点検を実施することで故障件数が減少した。